

地域おこしのプロフェッショナル 仕事の流儀

vol.12 広尾町 澤村 拓也 さん



～PROFILE～

広尾町 澤村 拓也 さん

出身：愛媛県岩城島

前職：住宅設備関係

趣味：キャンプ

1 地域おこし協力隊になったきっかけは？

前職の時に業務改善のプロジェクトを企画して『残業削減』等をテーマに取り組んでいました。その時のプロジェクトで、**自分のやりたいことを企画して取り組むことが面白い**と気付いて、それを仕事にしようと考えました。十勝管内で自分に合いそうな仕事を探した結果、広尾町で木工や林業関係の地域おこし協力隊を見つけ、家具雑貨工房 ki-kiru（きーきる）さんのブログを見つけました。それを読んでいたら、この人と一緒にやりたいと思いました。他の仕事も調べましたが、地域おこし協力隊であれば**自分のやりたいことを実現できて、将来に繋がられるかな**と考え、地域おこし協力隊を選びました。

2 日々の活動内容を教えてください。

昨年出来た広尾町のオリジナルブランドである**サンタラドウッドのブランド力強化や認知度アップ**を担っていくこと、**サプライチェーンの確立**を整える業務を



▲サンタラドウッドを使用した商品

しています。具体的には、サンタラドウッドの商品を開発し、ふるさと納税やサンタラドで販売しています。他にもブランド力の強化や認知度アップのためにサンタラドのイルミネーションに今年度から**ウッドイルミネーション**を追加しました。広尾町産のカラマツ、トドマツを利用して箱型のウッドイルミネーションを1000個製作しました。来年は5,000個、再来年は10,000個の作成を目指

していて、町全体として盛り上げれるイベントにしたいと思っています。

3 不安なことはありましたか？

**お世話になる方がどのような人か、職場の方がどうい
う人か**不安はありました。けれど、自分のやりたいこと
ができる、実際に周囲にやりたいと話した際に受け入れ
ていただけることが多くて…楽しみの方が多かったで
すね。気候に関しては、暑さに弱いのですが、夏は過ご
しやすく最高でした！（笑）あとは、**交通の便**ですね。現時点では、自分で車を運転
しているので大丈夫かなと思っていますが、帯広までバスだとかなり時間が掛かるので、
車が使えなくなってしまう際には不便になってしまいそうだなと心配しています。



4 今後の展望・目標について教えてください。

来年度から「集いの森プロジェクト」が始動します。
集いの森プロジェクトは廃校舎を再生させて、多様な価
値観をもつ人が集える場や森林の循環利用をテーマと
して複合施設を作っていくものです。この施設は日替わ
りワークショップやサンタランドウッズのギャラリー、
ウッドイルミネーション、木工の工房、森のおもちゃ館、
観光案内・特産品販売所など魅力的なものが集まる場所にしたいと考えています。そこ
で来年度は私と一緒にこのプロジェクトを推進していただける地域おこし協力隊を募
集します。そういった形でこのプロジェクトをたくさんの方と成功に導いていくことが
今後の目標です。



5 広尾町の魅力について教えてください。

やっぱり**食と自然**がすごいですね。春は行者ニンニク、タラの芽、ふき等美味しかっ
たし、ジビエ、ウニや魚もたくさんとれて、その一部分を分けていただいたりしました。
東京都にいた頃は、近所から野菜をいただいたりする習慣があまり無かったので、食の
物々交換が日常的に行われていて素敵だなと思いました。山菜も一緒に取りに行かせて
いただいたのですが、山に入ってすぐの場所に生えていて驚きました。あとは**野生動物**
ですね。愛媛にはイノシシがいましたが、野生のクマ・鹿は北海道に来て初めて見まし
た。先日熊が罾にかかっているところに行って、間近で見ることができました。食も自
然も **THE 北海道**という感じが良いなと思います。